

和歌山F B

ユニホームを披露

田辺市長らに活躍誓う

田辺市を拠点にした野球球団という気持ちになった」と気立リーグのチーム「和歌山ファイティングバーズ(FB)」が2月28日、田辺市役所(田辺市新屋敷町)でユニホームを披露した。真砂充敏市長らが4月から始まるリーグ戦での活躍を誓った。

ユニホームは紺色地にチームカラーのえんじ色と金色をあしらったデザイン。中央のえんじ色の一本線は「一本筋の通った選手の育成方針」を表現したという。

田辺市役所には山崎章弘監督や主将の高橋直也選手(24)らが訪れ、真砂市長にチームの帽子をプレゼントした。真砂市長は「皆さんの活躍を期待しています」とエールを送った。

初めてユニホームに袖を通した高橋主将は「よしやるぞ」という気持ちになった」と気を引き締めた。山崎監督は「リーグの優勝はもちろん、一人でも多くの選手をプロ野球に送り出したい。まずは地元の人にチームを知ってもらうことが大切」と抱負を語った。

チームのキャッチフレーズは「和夢(わむ)」。山崎監督が考えた言葉で「和歌山で夢をつかむ」という意味を込めた。「闘鶏」をイメージしたマスコットキャラクターの名称は、一般公募の中から「鳥和歌丸(とりわかまる)」に決まった。

オープン戦は1日から4月3日まであり、県内では千里ヶ丘球場(みなべ町)、上富田スポーツセンター(上富田町)、なぎの里球場(有田川町)で試合をする。



真砂充敏市長(左から2人目)と、新しいユニホームを披露する和歌山ファイティングバーズの監督や選手ら＝田辺市新屋敷町で

和歌山F Bが今季から加入する「ベースボール・ファーストリーグ」(BFL)は、「兵庫ブルーサンターズ」「兵庫ブルーサンターズ」(兵庫県三田市)と「06ブルズ」(大阪府東大阪市)を合わせて計3球団で優勝を争う。和歌山F Bのリーグ開幕戦は4月8日午後1時から、田辺スポーツパーク(田辺市)であり、兵庫と対戦する。

和歌山F Bはリーグの全36試合中、18試合をホームの田辺スポーツパーク、上富田スポーツセンター、サン・ナンタランド(串本町)で戦う。シーズン中、プロ野球の2軍や3軍との交流戦や、中国代表チームなどとの国際試合もする予定。